

のぼのばかわら版

K-6812 爆笛

スゴい名前です。
電子ブザー。 **チラシ同封**
コロナの中、マスクをしながらの仕事。

笛を吹くのに、いちいちマスクを外さなければなりません。
この商品、電源ボタンをON、警笛スイッチを押すと**120dB**相当のブザーが鳴ります。
この数値、実はすごいです。
ネット等で調べて頂かなくても大丈夫!!

当社「**人気ユーザーバー**神谷」
がご説明しています。

次の「QRコード」をスキャン
お願いします。



新製品
にがおえ
そっくりです

クレーンの誘導や警備員の方、
思ったよりたくさんの方で使用
される警笛。
是非、ご検討ください。

10倍破れにくい靴下

大人気の靴下シリーズに、これからの季節に向けて新発売です。
この商品、特許技術を使用したメッシュ設計になっています。
足で一番に発汗量が多いのは、

足裏の指の付け根部分です。
その部分に沿って、メッシュを編み込んだ構造が特許です。
破れやすいところは名前の通り強度を保ち、それでいて足ムレを軽減する。



ユーチューブあり

新製品
どんどん
上手なってます

実際に履いて頂ければば分かります。

当社で取り扱いを始めてから、
右肩上がりで売上数の伸びている
「10倍シリーズ」。

定番商品のラインナップも含め
チラシを同封しています。

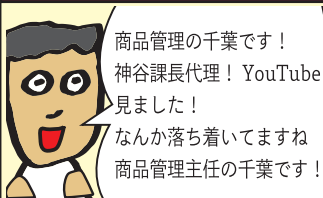
新商品と共にご検討をよろしく
お願いします。

GC5630

持ち運び出来る、スパイク底の
長靴です。フォレストブーツ
ソールがすごい。

発行 (株)のぼのほ
〒246-0001 仕事を楽しくする作業用品の企画販売会社
神奈川県横浜市瀬谷区卸本町9279-37
TEL 045-921-3561 FAX 045-921-5337
<http://www.yetian.com/>
毎月20日発行 **第388号**

働くのばちゃん Vol. 388



商品管理の千葉です!
神谷課長代理! YouTube
見ました!
なんか落ち着いてますね
商品管理主任の千葉です!



いやあ、そうでもないよ
心臓はバクバクだよ
恥ずかしい...



営業の山元ですが
たいしたもんですよ
よくやったって感じ
です



お前、その言い方は
ないだろ!
次は山元、お前だ
指名制にしよう!

硬くて重い金属ピンではなく、
独自設計のラジアルゴムピン使用。
だから疲れにくい!
本体は、柔らかなPVC素材な
ので、くるくる丸めて付属の収納
袋に入れて簡単に持ち運べます。
車に忍ばせておけば色んな場面
で活躍しそうです。



新製品
当社在庫はブラック
のM~3Lです。
チラシ同封です。

夏物商材

おたふく手袋の**夏物カタログ**を
同封しました。

また、当社の**夏物チラシ**も同封
しました。

ハーフパンツや空調服の浸透に
合わせて、コンプレッション系の
ラインナップを多く採用しました。
よろしく申し上げます。

続きますが、スパイク足袋も新しく在庫します。【I-10-8スパイク地下たび大ハゼ8枚】
詳細は**同封チラシ**をご覧ください!

朝の注文

「のばお」は会社に行く前に毎朝母親の家にコーヒーを飲みに行きます。

ところが、最近あまりにも早く起きる事が多く、寄らずに会社に行ってしまう事が増えました。

でも、癖になってしまったのか通勤中、運転しながらもコーヒーを飲みたくなくなってしまいました。

「缶コーヒーを飲んでダメ！」と、自然派の奥さんに止められていますから、コンビニのドリップ式？の機械で入れるヤツを飲む事になります。

自宅から近いファ○リーマ○トに行きます。

今回はそんな「のばおの朝」についての話です。

それは、店に向かって運転している時から胸騒ぎがします。

「今日も無事で済むのかな？」

「大丈夫だろうか？」

不安いっぱい、駐車場に車を停めます。

さあ、入店です。

真っ直ぐ、レジに向かいます。
赤い文字が「のばお」です。

「いらつしやいませ」

「あ、おはようございます、指で機械の方を差しながら、

「あったかいコーヒー、」

「小さいのをひとつ、」

「パスモで、」

「パスモ」

「タッチお願いします」

「はい、」

「ピピッ」

たったコレだけの「やり取り」なのですが、毎日言えば言うほど不安になるのです。

毎日が、全く同じなのです。

急いでいるし、別に他の言葉を使う必要ありません。

つまり何を言いたいかと言うと

「のばお」は、店員さんに分かりやすく言葉を区切り、テンポ良く

思いを告げているのです。

「ポン、ポン、ポン、ポン」と、

とてもリズムカルです。

その時に頭をよぎるのが

「順番を間違えたらどうしよう

です。

それがとても不安なのです。

店員さんも、大体いつも同じで

二十代前半の女性といったところ

でしょうか。

おとなしい感じですよ。



女性の方も、毎朝「のばお」と同じ会話をしているのに気づいて

いるはずですよ。

テンポが良く、聞き取りやすいし、期待しているかも知れませんが

だからこそ「違った言葉や順番

を言ってしまうてはいけない」と

心配になるのです。

意味の伝わる「間違え」なら、

「コーヒーをお願いします」

「はい」

「パスモでいいですか？」

「どうぞ」

「大きさは？」

「あ、小さい方で」

「ホットですか？」

「あつあつ、はい、一つです」

これならその女の子にも伝わる

はずですよ。

しかし、例えば次ならどうでしょうか？

「パスモを一つ」

「パス・モ・を？ですか？」

「あったかいの」

「小さいか？」

「コーヒード」

「いくつの？」

「いや、あつち、」機械を指差す。



こんな「間違え」では、意味は通じないし、テンポも崩れます。

単語は合っていたとしても順番

や接尾語で意味が全く分からなくな

ってしまうのです。

ソコを気にしてから、毎日毎日

気にする様になってしまったので

す。

「そんな訳ない」と思う方もいら

っしゃると思いますが、この記事

を読んだ後には変わると思っています。

「いつも同じ事を繰り返している

だけは怖い」と思いました。